

2018年9月10日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 長谷川 弘

インド国チェンナイ周辺環状道路建設事業（フェーズ1）  
（協力準備調査（有償））  
ドラフトファイナルレポートに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年8月27日（月）14:00～17:04
- ・場所：JICA 本部（1階 111 会議室）
- ・ワーキンググループ委員：原嶋委員、長谷川委員、谷本委員、織田委員、石田委員
- ・議題：インド国チェンナイ周辺環状道路建設事業（フェーズ1）（協力準備調査（有償））ドラフトファイナルレポートに係る助言案作成
- ・配布資料：
  - 1). 【回答表】インド国チェンナイ周辺環状道路建設事業（協力準備調査（有償））SC 案
  - 2). チェンナイ周辺環状道路 01\_DFR1(J)\_CPRR
  - 3). チェンナイ周辺環状道路 EIA\_Report
  - 4). チェンナイ周辺環状道路 RAP\_Section-1\_Report
  - 5). チェンナイ周辺環状道路助言対応表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第94回委員会）

- ・日時：2018年9月10日（月）14:00～16:00
- ・場所：JICA 本部（1階 113 会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **社会配慮**

1. TPP Link Road の線形変更がスコーピング段階後に行われたという経緯に鑑み、この線形変更について GL に沿ったステークホルダー協議が実施されたかの経緯を FR で説明すること。特に、線形変更により貧困層を含む被影響者から資産喪失等の懸念が示されており、これらに対する対策が取られたことを FR に記述すること。
2. RAP に記載されている未熟練女性雇用等の項目と EIA に記載のあるワークキャンプにおける保育施設や女性トイレの設置等の項目を FR の環境モニタリングフォームに反映させること。

### **その他**

3. 事業サイトでは地下水利用者が多いため、供用時も地下水位についてモニタリングするよう、実施機関に申し入れること。
4. 経済評価において、環境社会費用・便益をどのように勘案したか、また、それらが評価結果にどのように影響するかを FR に記述すること。
5. 線形変更後のデータに基づく経済・財務評価、特に事業の実施妥当性に結び付けるために、マイナスの財務評価でも事業を実施する妥当性を FR に記述すること。

以 上